

SAM-DE工法

(Shinto Almighty Maintenance Dan-Epo工法)

《多重架橋形水系エポキシ下地調整塗材》

JIS A 6909
可とう形改修塗材RE

シントーダンエポ

No.8

省工程

付着性

高抗張力

旧塗膜追従性



さわやかな環境の提案



神東塗料

シントーダンエポ

概要

防水形仕上塗材、特に上塗兼用形（単層）塗材で施工された塗膜は、経過年数・部位・気温・材質等により、劣化状況（伸長率、老化等）が全く異なります。又、経年後においてもゴムフィルム状であり、吸い込みも殆ど無く、一般の改修塗材では、付着力と伸長力のバランスに欠け、必ずしも十分な塗膜性能を期待できません。シントーダンエポは、このような旧塗膜のあらゆる挙動に対する追従性と、優れた付着力を有した高抗張力下地調整塗材です。

特長

【省工程】

シーラーレス且つ主材兼用ですので工程の短縮になります。

【付着力】

水系エポキシエマルジョン樹脂により硬質、軟質弾性仕上げ塗材面に対して付着性に優れています。

【高抗張力】

軟質塗膜改修時に見られる歪みによる界面剥離に充分耐え得る、多重架橋形高抗張力を有します。

【幅広い作業性】

薄塗り（中毛ローラー）、厚膜塗り（多孔質ローラー）から吹付けまで可能ですので、幅広いデザイン性が得られます。

【低汚染性】

あらゆる上塗材が可能ですので、弾性塗材特有の汚染から解放されます。

【旧塗膜追従性】

IPN（相互侵入高分子網目構造）の特殊構造により、感温性のない強伸度物性が得られ、旧塗膜への追従と低温時のひび割れ追従性を有します。

適用下地

硬質・軟質弾性仕上塗材面（除ふっ素樹脂仕上面）

適用上塗

各種硬質・軟質外装仕上塗材（水系・溶剤系）

テクスチャー

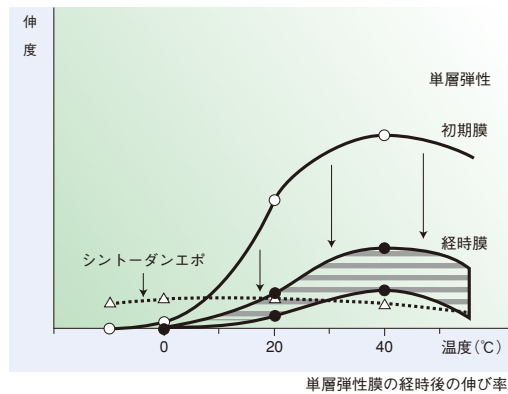
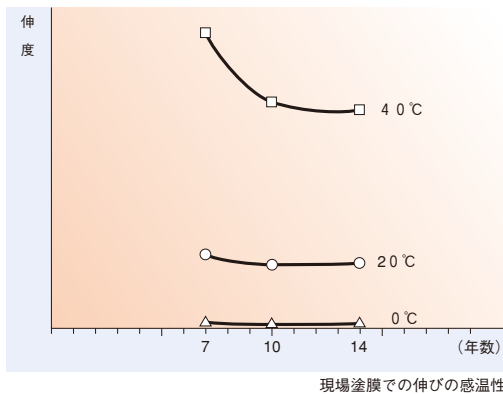
中毛ローラー仕上げ

多孔質ローラー仕上げ（さざなみ模様）

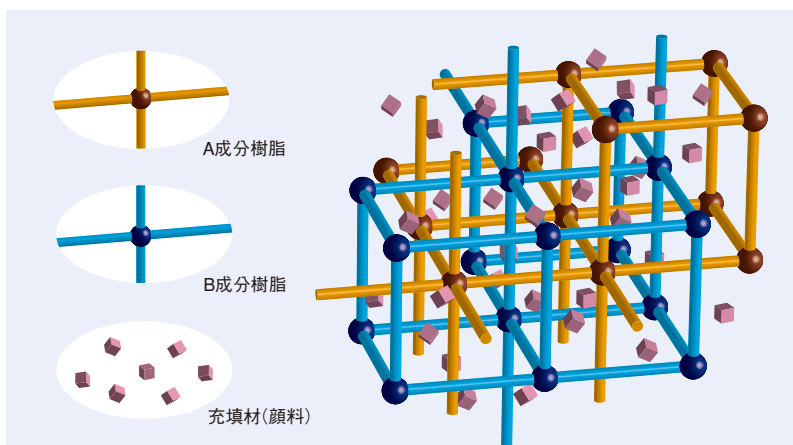
吹付仕上げ（凹凸模様・キャニオン模様）

単層弾性塗膜の特質をつかんだ品質設計

〈単層弾性の一般的メンテナンスサイクルは、8年～12年〉



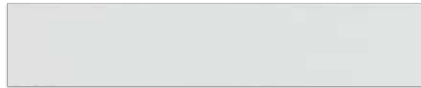
IPN〈相互侵入高分子網目構造〉



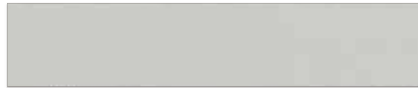
反応硬化するA樹脂とB樹脂は、各々架橋して3次元網目を組み、しかもA樹脂とB樹脂の異なった種類の鎖が互いに絡み合った構造が出来る。単一ポリマーでは実現出来なかった感温性が小さく、付着力の大きい高抗張力をもつなどの性能が得られる。

■ シントーの標準色 ■

ベースカラー (基調色)



SPC-11



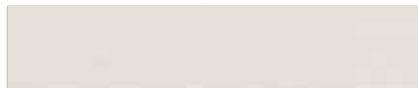
SPC-12



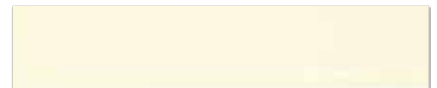
SPC-13



SPC-14



SPC-15



SPC-16



SPC-17



SPC-18



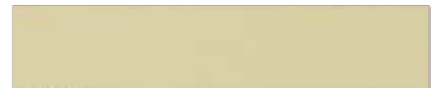
SPC-19



SPC-20



SPC-21



SPC-22



SPC-23



SPC-24



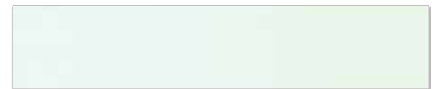
SPC-25



SPC-26



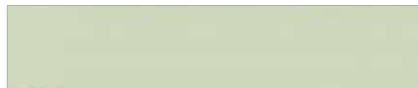
SPC-27



SPC-28



SPC-29



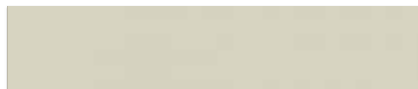
SPC-30



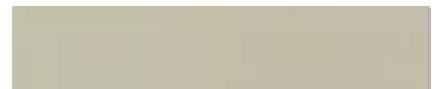
SPC-31



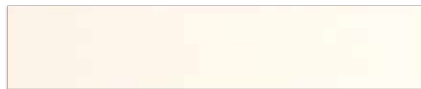
SPC-32



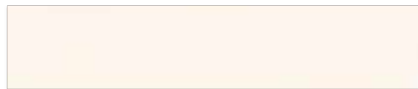
SPC-33



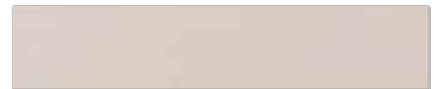
SPC-34



SPC-35



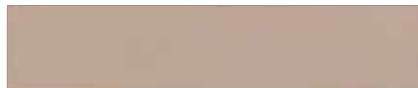
SPC-36



SPC-37



SPC-38



SPC-39



SPC-40

アソート・アクセントカラー



SPC-41



SPC-42



SPC-43



SPC-44



SPC-45



SPC-46



SPC-47



SPC-48



SPC-49



SPC-50



SPC-51



SPC-52

*この色見本は紙に塗装していますので、塗料の種類により色相・発色の程度が若干異なることがありますので、ご了承願います。

*水系上塗塗料の場合には、鮮やかな濃彩色は調合致しかねる場合がありますので、事前に弊社へご相談ください。

*「アソート・アクセントカラー」は価格UPとなる場合がありますので、事前に弊社へご相談ください。

荷 姿

製 品 名		容 量	色 相	一 般 名
シントーダンエポ	基剤	14.7kg	白 色	多重架橋形水系エポキシ 下地調整塗材
	硬化剤	0.3kg	淡黄色透明	

塗装仕様例（改修）

工 程	塗 料 名	塗 装 方 法	塗 回 数	希 積 率 (%)	塗 装 間 隔 (23℃・時間)	標 準 塗 付 量 (kg/m ²)
-----	-------	---------	-------	-----------	---------------------	-----------------------------------

●改修例1（さざ波仕上げ、高級アクリルシリコン塗料仕上げ）

素地調整	劣化塗膜・汚れ・ごみ等を除去し、旧塗膜剥離面は主材により修復する。					
主 材 塗	シントーダンエポ	砂骨ローラー	1	1～3	16時間～7日	1.0～1.3
上 塗	水性ハイテントップ	はけ・中毛 ローラー・スプレー	2	10～20	3時間以上	0.30～0.40 (2回塗計)

注) リシン面など吸い込みが著しい場合には、下塗に「シントー水性Mシーラー」を適用してください。

●改修例2（既存塗膜復元仕上げ、高級アクリルシリコン塗料仕上げ）

素地調整	劣化塗膜・汚れ・ごみ等を除去し、旧塗膜剥離面は主材により修復する。					
主 材 塗	シントーダンエポ	中毛ローラー	1	6～10	16時間～7日	0.25～0.45
上 塗	水性ハイテントップ	はけ・中毛 ローラー・スプレー	2	10～20	3時間以上	0.30～0.40 (2回塗計)

注1) 既存膜が溶剤可溶性塗膜（アクリル樹脂塗料等）の場合、上塗に（強）溶剤形塗料を塗装する場合は、塗膜のリフティング（チヂミ）などの不具合が発生することがありますので避けてください。

注2) 上塗の標準塗付量は既存膜のテクスチャにより異なります。

ご使用上の注意事項

●現場塗装の一般的禁止事項

- 気温5℃以下の時は塗装を避けてください。気温が低くなりますと乾燥が非常に遅くなります。低温時に塗装する時は加温対策が必要です（気温15～30℃の範囲が良好です）。
- 湿度85%RH以上の時は塗装を避けてください。被塗面の水分によって、塗膜の乾燥造膜が悪くなり、期待する塗膜性能を発揮できないことがあります（40～70%RHが良好です）。
- 被塗面に結露がある時は塗装を避けてください（特に朝夕の結露には注意してください）。
- 塗装後2時間以内に降雨、降雪が予想される場合は塗装を避けてください。
- 強風、砂ぼこりが多いときは塗装を避けてください。砂塵、海塩粒子などが塗装中、乾燥後に付着すると塗膜性能低下、仕上がりが不良となります。
- コンクリート、モルタルへの塗装の場合、表面含水率10%以上（デジタル式では5%以上）、pH10以上の時は塗装を避けてください。コンクリート、モルタルが未乾燥状態のときは、アルカリ成分が多く、塗膜の付着性及び仕上がりに悪影響を与えます。
- 施工部位などにより、低汚染性が十分に発揮されない場合がありますので、御注意ください。

●塗料の一般的取扱注意事項

- 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- 塗料は使用する前に十分かき混ぜ均一な状態にしてください。多液形塗料の場合は、混合比に十分注意し、所定の割合で混合し均一になるまで十分にかき混ぜてください。また、小出しする場合は、必ずはかりを用い、正しい混合比で計量後、混合してください。
- 希釈率、塗重ね時間などは、規定の数値を厳守してください。
- 開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものは、出来るだけその日のうちに使用してください。
- さげ缶に小分けする時は、十分にかき混ぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを使用してください。
- 残った塗料は常にフタをするよう心がけてください。
- 塗料の保管は、直射日光や雨風を避け、出来るだけ屋内倉庫に貯蔵、管理するようにしてください。
- 使用した塗装器具等は、直ちに水洗いしてください。

●緊急時および応急処置

- 目に入った場合は、直ちに清浄な流水で15分以上洗眼し、出来るだけ早く医師の手当てを受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、石けん水でよく洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の手当てを受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じて、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- 謝って飲み込んだときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後、処理してください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

※御不明な点に関しては、弊社お問い合わせ先までご連絡願います。



神 東 塗 料

商品に関するお問い合わせは最寄の営業窓口までご連絡ください。

東日本営業部 東京都江東区新木場四丁目3番17号
 (〒136-8611) ☎(03) 3522-1674代 FAX (03) 3522-1678
 北海道営業所 恵庭市北柏木町三丁目62番地の3
 (〒061-1433) ☎(0123) 32-0431代 FAX (0123) 34-6199
 東北営業所 仙台市若林区六丁目の目元町3番10号
 (〒984-0014) ☎(022) 285-7915代 FAX (022) 285-7813
 静岡営業所 静岡市葵区鷹匠三丁目14番16号
 (〒420-0839) ☎(054) 245-0135代 FAX (054) 247-4091
 北陸営業所 石川県金沢市本町一丁目8番18号
 (〒920-0853) ☎(076) 262-1305代 FAX (076) 262-1315

本 社 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
 (〒661-8511) ☎(06) 6426-3355代 FAX (06) 6429-6188
 東京営業所 東京都江東区新木場四丁目3番17号
 (〒136-8611) ☎(03) 3522-2111代 FAX (03) 3522-2150
 西日本営業部 尼崎市南塚口町六丁目10番73号
 (〒661-8511) ☎(06) 6426-3763代 FAX (06) 6429-6268
 名古屋事業所 名古屋市南区元塩町四丁目14番地1
 (〒457-8711) ☎(052) 612-0293代 FAX (052) 612-0318
 中国営業所 広島市東区東蟹屋1番地の3
 (〒732-0055) ☎(082) 264-6822代 FAX (082) 264-6821
 四国営業所 高松市春日町1652番地の3
 (〒761-0101) ☎(087) 841-1251代 FAX (087) 843-3108
 九州営業所 福岡市博多区半道橋二丁目6番57号
 (〒812-0897) ☎(092) 472-2222代 FAX (092) 473-5777

<http://www.shintopaint.co.jp/>